



環境の大切さ

今年は梅雨明けが早く、すでに夏本番の猛暑日の連続です。皆様、熱中症には十分気を付けてお過ごしください。



さて、例年は、梅雨明けとともに「セミの大合唱」のイメージでしたが、今年はまだ「セミの声」があまり聞こえてきません。



専門家の見解では、「セミの羽化には『地温』が重要なポイントだそうです。今年は、梅雨が短く雨が少なく、さらに、一気に地温が上がりすぎて、羽化のタイミングを逃したのではないか。」という意見もあるようです。

このように、このところの異常気象(?)に私たち人の生活だけでなく、動物(昆虫)や植物にも様々な影響がでています。

こう考えると、「成長(生長)」に必要なことは、『適切な環境』だと感じます。学校では、子供たちの成長を願い、何を与え、何を考えさせることが望ましいかを考えています。常によりよい環境づくりを目指し、成長を促したり学習内容を定着させたりするように努めています。1学期も残りわずかですが、最後までしっかりと子供たちを見守り、締めくくりたいと考えています。

夏こそチャンス!!



上の記事につながるところもありますが、長い夏休みは、自分で勉強できる子になるための基礎習慣をつけるチャンスです。

「親に言われずとも、自分から勉強できる子になってほしい。」そう願う保護者の方は多いでしょう。しかし、多くのお子さんは急に自ら進んで勉強することはありません。だからこそ「習慣づけ」がとても大切です。

小学校のころから、歯磨きや入浴と同じように、勉強を毎日の習慣に組み込むことができれば、それは大きな強みとな

ります。最初は5分、10分で大丈夫。小学校入学後からそうやって少しずつ習慣化できれば、成長とともに自走して勉強できるようになります。

ただし、勉強の習慣化は、比較的スムーズに実現できる子と、そうでない子に分かれます。その原因は、その子にとって「机に向かう」という学習スタイルが向いていないからかもしれません。また、タイミングも重要です。

我が子がスムーズに学習に取り組めるスタイルがわかれば、潜在的にもっている力を大きく引き出してあげることができるはずです。「どうも勉強に集中できていない」と感じる場合には、視点を変え、今までとは違ったスタイルやタイミングを試してみてはいかがでしょうか。兄弟姉妹でも、合う学習スタイルが同じとは限りません。



夏休みは、比較的小児に時間の余裕がある分、試行錯誤にぴったりの期間です。

その子に合ったスタイルを見つけ、学習習慣を身に付けることは、親が子供にしてあげられる最大のギフトだといえるのかもしれません。夏休みの宿題は計画を立てる練習にぴったりです。自学できるようになるためのステップとして、最初にするべきは学習習慣の定着と、子供に合った学習スタイルの確立です。これらをベースに、さらに「計画を立てる」ことができるようになれば、一生を通じて学び続けられる姿勢が身に付き、その子にとっての生涯の財産となると思います。

tetoru配信となって



この学校だより「こがくらだより」初のtetoruでの配付です。いつもながらにお伝えしたいことがたくさんあり、文字量が多くなります。多くの方が、スマートフォンでお読みになるのではないかと思います。「見えづらさ」を危惧しています。

今後、少しでも改善できたらと考えています。御一読よろしくお願い致します。